

岩井化成（茨城県坂東市、清水弘社長、0297

・35・1879）が廃プ

ラスチック再生処理事業の  
全国展開に乗り出して  
いる。レジ袋や容器包装フ

ィルム、農業用資材などを全  
国から回収し本社工場でリ  
サイクルする。ポリエチレ

ンやポリプロピレン（P  
P）などを再原料化し、そ  
れらを再びゴミ袋などと

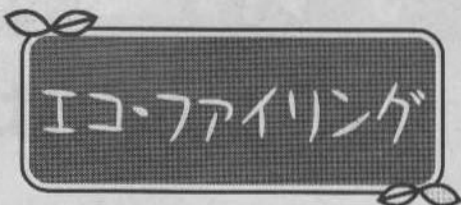
して再商品化している。商品  
は廃プラを排出した地域、  
自治体、企業向けに提供す

ることを前提にしており、  
「廃棄物を産地消する」  
（山中正規リサイクル事業

部エコプランナー）珍しい  
取り組みだ。

岩井化成が販売するゴミ  
袋「農強タストパック」

### ③9 岩井化成



～環境サービス・商品最前線～

## 廃プラ再生処理



使用済みポリエチレン  
をリサイクルした商品

は、畑でよく見かけるビニ  
ールハウスをリサイクルし  
ている。ポリオレフィン製

のビニールハウス用フィル  
ムは使用後の汚れもひと  
く、「埋め立て処理されて  
いることが多い」（同）。  
同社はこれを回収し再生原  
料化している。製造したゴ  
ミ袋はビニールハウスを排  
出した地域で販売するほ  
か、もみから袋などの農業  
用資材も同原料から製造  
し、「その地域の農家で使  
ってもらおうようにしてい  
る」（同）。

種袋にリサイクルする。こ  
れも食品メーカーが再び利  
用している。

に還元する。北海道・東北  
地域を中心にホームセンタ  
ーを展開するホームマックと  
連携し、店舗で回収された  
レジ袋を再原料化しベンチ  
を製造。使用済みレジ袋を  
約1万枚使って製造したベ  
ンチは再びホームマックの各  
店舗に設置される。  
大手食品メーカーとドレ  
ッシングの容器のロス品を  
リサイクルする取り組みも  
始めた。ドレッシングを充  
填する際に切り取られる容  
器の口部などを回収し、各  
袋は入札で決められるた  
め、「価格面では海外品に  
勝てない」（同）が、地域  
で排出された廃プラを再び  
地域で使用するという環境  
面の付加価値があるため、  
今後再生ゴミ袋を導入す  
る自治体が増えそうだ。

# 地域の廃棄物 地域で再生